

事業番号	09 01 08	事業改善シート（26年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	「信州 山の日」制定推進事業				担当課	部局	林務部	
						課・室	森林政策課	
						E-mail	rinsei@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画	プロジェクト	2-1-1 農山村産業クラスター形成プロジェクト						
	施策の総合的展開	1-2 強みを活かした観光の振興 1 選ばれた観光地づくり 1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり 4 様々な主体の関わりによる森林の適正管理と多様な利活用の推進 3-2 豊かな自然環境の保全 2 自然環境の保全			実施期間	H26	～	H27

1 事業の概要

目指す姿	「信州 山の日」を制定し、長野県民共通の財産であり、貴重な資源である「山」に感謝し、「山の恵み」を将来にわたり持続的に享受していくため、「山」を守り育てながら活かしていく機運の醸成を図る。 そのため、「信州 山の日」の趣旨や制定を契機とした取組を県民等に広く周知し定着・浸透を図るとともに、本県の「山」への関心を高め、環境、観光、教育、森林等の様々な取組への県民等の参加を促進するため、「信州 山の日」制定記念式典の開催とする情報発信等を集中的に実施する。		
現状（予算編成時）	長野県独自の「山の日」制定に向け、県政モニターによる県民意識調査や長野県「山の日」懇話会、長野県の「山」を考えるシンポジウムの開催等により検討を進めてきた。 その結果、名称を「信州 山の日」とし、期日を「7月第4日曜日」とする県の考え方をとりまとめた。		
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 「信州 山の日」設置要綱	
	県民との協働による実施： 実施中		

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H26)				
	県民の「信州 山の日」の認知度:90% 式典開催及び普及啓発活動を通じ、「信州 山の日」制定の趣旨を広く県民等に周知することにより、「山の恵み」に関する「親しみ・学ぶ・守る」取組への県民参加が促進される。				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H26事業実績		
			H26 (当初)	H26 (決算)	H27 (当初)
普及啓発・情報発信	直接	ポスター、リーフレット、広報媒体による周知(ラジオ)	2,103	1,464	2,842
記念式典の開催	直接	国営アルプスあづみの公園で記念式典を開催	1,173	1,874	
式典準備	直接	打合せ等の実施	62		
		合計	3,338	3,338	2,842

事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越					項目	H25末(実績)	H26			H27目標
		当初予算			3,338	2,842			目標	成果	達成状況	
		補正予算					県民の認知度	-	90%	82%	未達成	-
		合計(A)	0	0	3,338	2,842		月間中のイベント件数及び参加者	-	-	-	-
	Aの財源	一般財源			3,338	2,842	信州の山ポータルサイトアクセス数/年	-	-	-	-	10万件
		県債										
		国庫支出金										
		その他	0	0	0	0						
	決算額(B)			3,338								
概算人件費	職員数(人)			0.50	0.50							
	概算人件費(C)	0	0	4,129	4,129							
	概算事業費(B(A)+C)	0	0	7,467	6,971							

目標に対する成果の状況	県政モニターアンケート調査による「信州 山の日」の認知度は82%と、目標の90%には達しなかったが、県組織を挙げての「信州の山 新世紀元年」の取組の効果により、平成26年4月、県政世論調査協会の調査結果の49%を大きく上回ることができた。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	・県政モニターアンケート調査の結果、認知度は82%であったが、制定の趣旨、期日を知っている方の割合は35%と低く、信州の山の魅力向上に向けた取組を一層推進するとともに、その取組を広く情報発信する必要がある。 ・加えて、御嶽山の火山災害や遭難事故等が増加する中「安全に山を楽しむ」ための取組が重要である。 ・部局連携により「山」関連施策の推進を図る。